

蚊にさされない夏

総務課
西村 知子

今年もやってきましたね、蚊の季節が・・・みなさん、蚊に刺されないように対策していますか？
虫除けスプレーをふってみたい、ベープマットを焚いてみたい、色々な蚊対策があると思いますが、そもそも蚊は人間の匂いや体温を感知して近づいて来る生き物です。そんな蚊の習性を利用すると、これらの薬剤を使わなくても蚊が寄ってきにくくなります。
今回は、そんな蚊に関する対策や退治する裏技をまとめてご紹介したいと思います！

蚊が嫌う匂い

まずは虫全般が嫌う匂いです。薬剤を使わずに蚊を除去できたらいいですね。

●レモングラス（シトロネラ）

天然の虫除け成分として有名なシトロネラ。レモングラスに多く含まれ、蚊の嗅覚をマヒさせる働きがあります。

【おすすめ活用法】●アロマディフューザー●虫除けスプレー●ベランダに植える

●ハッカ油（メントール）

ハッカ特有のスーッとした清涼感は、蚊にとって非常に刺激的。皮膚に塗布しておく、蚊の接近を防ぐことができます。

【おすすめ活用法】●水に数滴垂らしてスプレーに●お風呂に数滴●扇風機の前に布で吊るす

●ラベンダー

リラックス効果が高いことで知られるラベンダーも、実は蚊が苦手とする匂い。特にアロマオイルや香り袋として使うのがおすすめです。

●ユーカリ（ユーカリ・シトリオドラ）

ユーカリに含まれる「シトリオドラール」という成分が蚊を強く遠ざけます。虫除けスプレーの成分にも使用されることが多いです。

●ローズマリー

料理に使われるローズマリーも、蚊が嫌うハーブのひとつ。特に火をつけて煙にすることで、蚊除け効果が高まります。

●バジル

バジルはその強い香りにより、蚊だけでなくハエも避けるといわれています。庭先やキッチンの窓際に置くのがおすすめです。

次は蚊の反応を鈍らせる方法です。

足の裏をアルコール消毒する

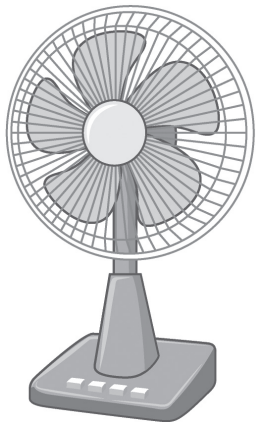
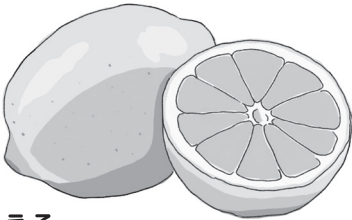
蚊が寄ってくる原因の一つに足の常在菌があります。そのため、足の常在菌を除菌することができれば、蚊が寄ってきにくくなります。そこで、足の常在菌を除菌するためにティッシュなどにアルコールを付けて足裏を念入りに拭くようにしましょう。

扇風機の風で人間の臭いを拡散

蚊は触覚にある匂いセンサーで血を吸う相手を探してやってきます。匂いがわからなくなると私たちを見つけられなくなりますので、扇風機を使って蚊を寄せ付けないようにすることができます。

蚊の飛び速度は毎秒50cmとあまり速くなく、風があると目標に向かって飛べないほどです。そのため、弱い風量でも扇風機をつけておけば、風で遮られて近づいて来られなくなります。

ぜひ、参考にして頂きいろいろな方法で対策をしてみてください。まだまだ夏はこれから、元気に乗り切れますように。



アポ新聞

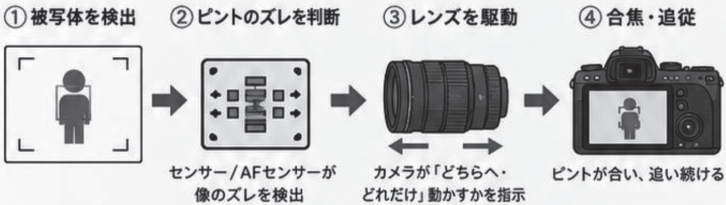
カメラのフォーカスは動くのか ピント合わせの仕組みと最新AFの進化

スマートフォンやミラーレスカメラの進化により、誰でも簡単にピントの合った写真を撮れる時代になりました。しかし、その一瞬のピント合わせの裏側では、光・センサー・画像処理を組み合わせた高度な技術が働いています。今回は、カメラのオートフォーカスがどのように被写体を見つけ、ピントを合わせているのかを紹介します。

代表取締役 家喜 正治

AF（オートフォーカス）とは？

被写体までの距離や像のズレを検出し、レンズを自動で動かしてピントを合わせる機能です。デジタルカメラでは、センサーや専用AFセンサーの情報をもとに、瞬時に「どちらへ・どれだけ」ピントを動かすかを判断します。



AFの主な方式

A. 位相差 AF 2つの光のズレから、ピント位置の前後と移動量を推定。速く、動く被写体に強い方式です。 	B. コントラスト AF 画像のコントラストが最も高くなる位置を探して合焦。精度は高い一方、前後に探るため迷いやすいことがあります。 	C. ハイブリッド AF 位相差AFの速さと、コントラストAFの精度を組み合わせた方式。現在のミラーレス機で広く使われています。
--	--	--

💡 一般に、位相差＝速い / コントラスト＝精密 / ハイブリッド＝両立

最新AFでできること

👁️ 顔・瞳 AF 人物の顔や目を優先してピント合わせ。ポートレートで有効。 	🏃 動体追従 AF 被写体が動いても位置を追いつけ、連写中もピントを保ちやすい。 	🐕 動物・乗り物認識 犬・猫・鳥や車両などを検出し、被写体に合わせて追従。 	📐 広いAFカバー範囲 ミラーレスでは画面の広い範囲でAFを利用しやすく、構図の自由度が高い。
--	--	---	---

シーン別の使い分け		AFが苦手な場面
🏔️ 風景	AF-S / 1点AF	⚠️ 暗所
👤 ポートレート	瞳AF	⚠️ 低コントラストの被写体 (真っ白な壁など)
🏃 子ども・スポーツ	AF-C / 追従AF	⚠️ 手前に障害物がある場面
🐾 ペット・野鳥	動物認識AF	⚠️ 被写体が極端に小さい・速い場面
		AFは万能ではありません。光量や被写体の特徴によっては、AFエリアの変更やMF (マニュアルフォーカス) が有効です。

要点まとめ



- ☑️ 速さに強いのが位相差AF
- ☑️ 精度に強いのがコントラストAF
- ☑️ 今の主流は両者を組み合わせたハイブリッドAF



AFの仕組みを知ると、被写体に応じた設定選びがしやすくなり、写真の歩留まりも上がります。